

# 〈現在の新六ヶ井堰と紀の川大堰の関係〉

標高 (T.P.m)

15

10

5

0

-5

計画堤防高

計画高水位 (H.W.L.)

転倒ゲート

現在の新六ヶ井堰の湛水位 T.P.+3.6m

T.P.+2.8m

T.P.+3.6m

T.P.+1.0m

期望平均高潮位

T.P.+0.8m

期望平均低潮位

T.P.-1.0m

現況河床

総貯水容量 310 万 m<sup>3</sup>

有効容量 200 万 m<sup>3</sup>

既存の容

81 万 m<sup>3</sup>

新たに増加する容

229 万 m<sup>3</sup>

紀の川大堰  
(6.2Km)

現在の六ヶ井堰  
(6.7Km)

JR橋梁  
(6.9Km)

固定部

河口からの距離

5K

6K

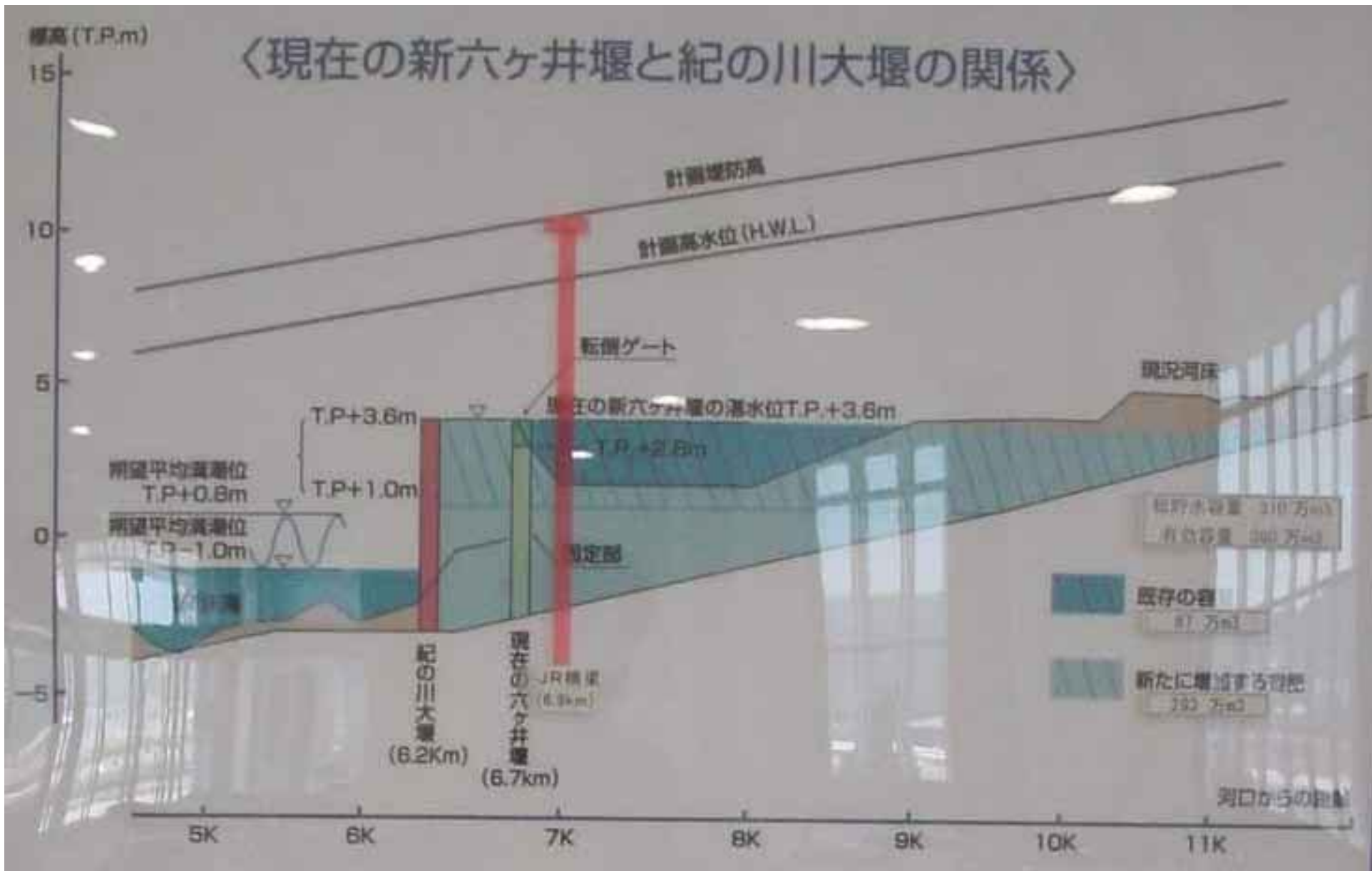
7K

8K

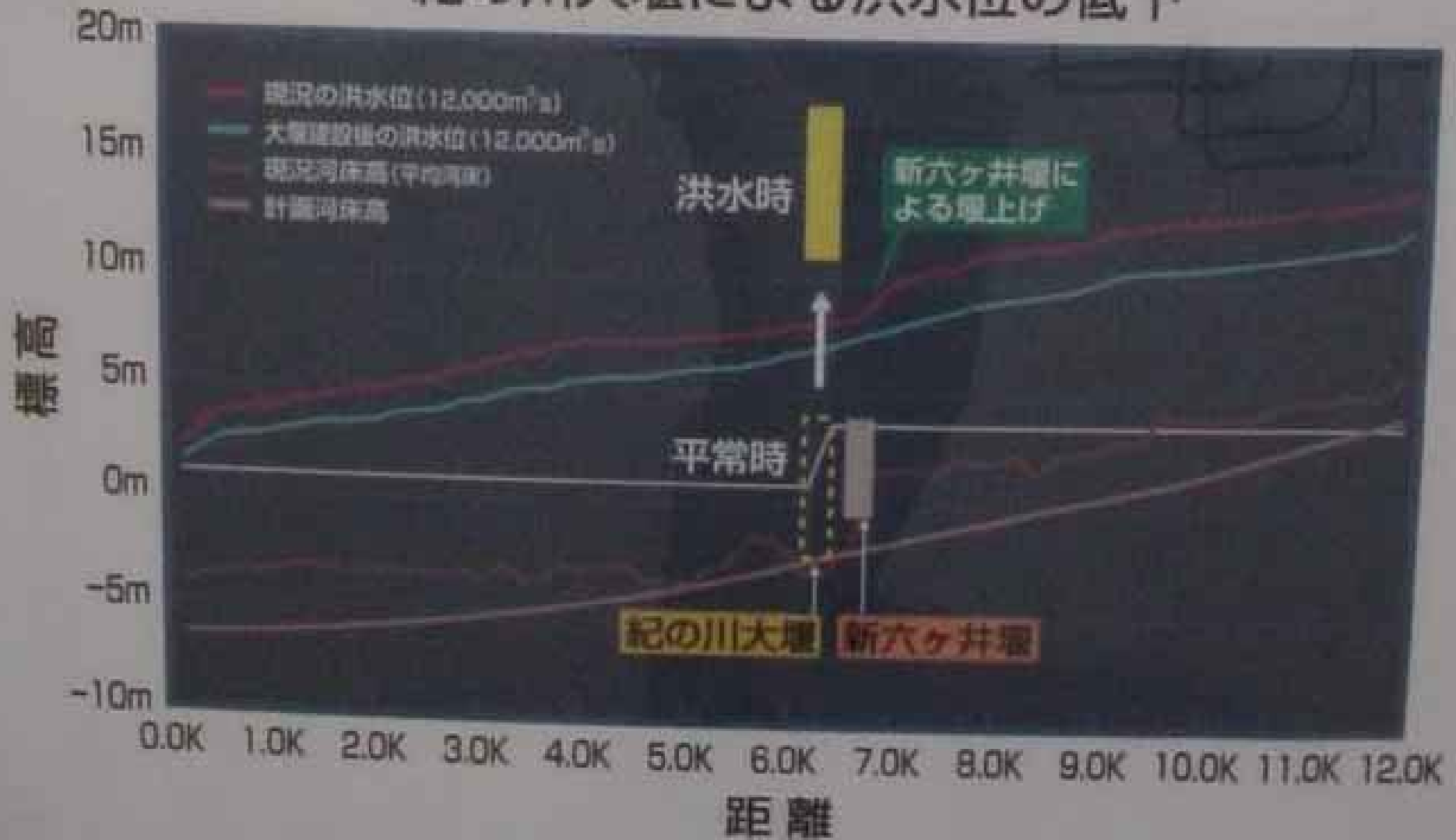
9K

10K

11K



# 紀の川大堰による洪水水位の低下



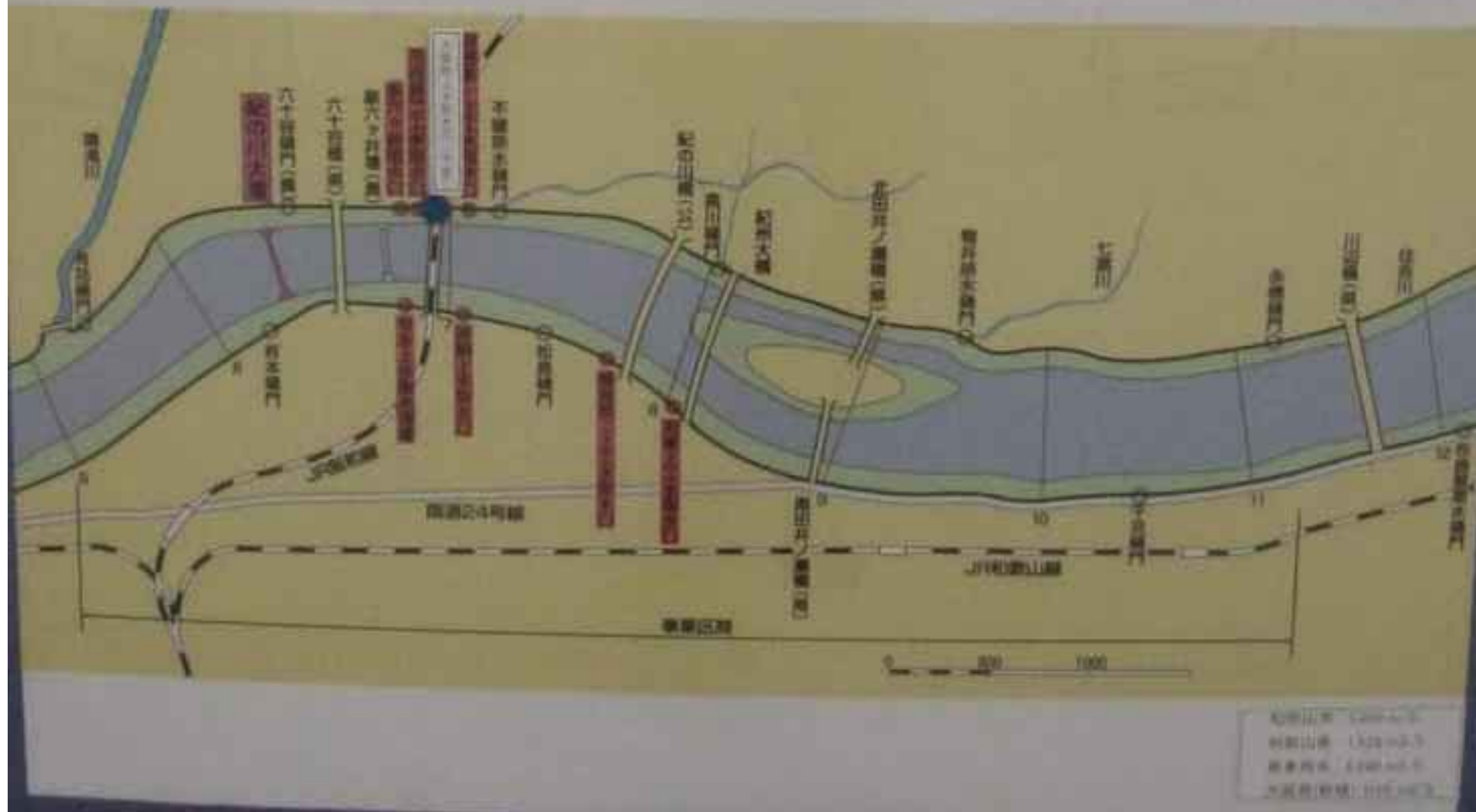
# 紀の川大堰の給水対象区域



凡例:

- 紀の川大堰集水区域
- 新規に水道水を供給する区域
- 津谷ダム集水区域
- 既得用水(水道水、工業用水)の安定取水を確保する地域

# 紀の川大堰周辺の取水口



# 紀の川大堰の魚道



試験中の右岸魚道



人工河川式魚道

デニール付パーチカルスロット式魚道

階段式魚道

呼び水水路

●ヨシノボリ類  
両岸部遊動性魚類／一部の種を軸とし、5～7月に分けて産卵・孵化後たばきに降下し、数カ月を遡すことにより産卵域・河川を遡上する



●ツナギ  
両岸部遊動性魚類／産卵のために降下し、マリアナ諸島西方海域で産卵・孵化する。産卵で遡上すことなし。1～3月頃にシラスツナギとなり河川を遡上する ※水産省所管



●モクスガニ  
中流部／上流から河口域に生息するが、9～10月頃に河口域で交尾・産卵し、さらに産卵のために降下を始める。産卵で産卵する



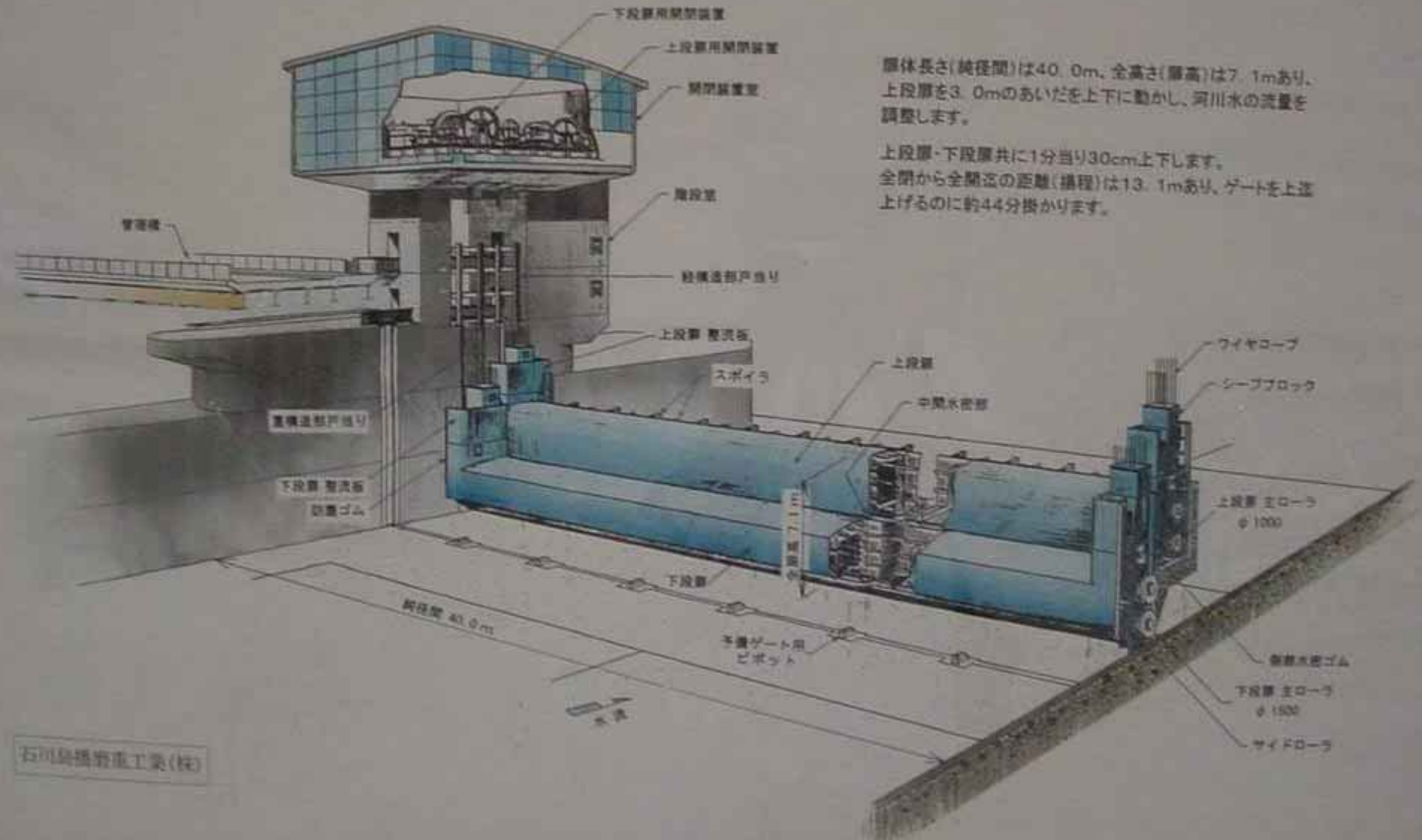
●サツキマス  
両岸部遊動性魚類／9月頃の産卵・孵化後、スモルト化(脱皮)して12～1月に降下、試験河川で9～10月産卵すこと。産卵の4～5月に産卵のために遡上する ※水産省所管



●アユ  
両岸部遊動性魚類／9～11月に産卵後、たばきに仔魚が降下して産卵すことし、産卵後3～5月に7～8cmの稚魚が河川を遡上する ※水産省所管



# 紀の川大堰流量調節ゲート



石川島播磨重工業(株)

# 紀の川大堰制水ゲート

